

アンケートの実施結果

<アンケート実施概要>

実施期間：平成17年11月23日から12月9日まで

アンケート配布枚数：約30,000枚

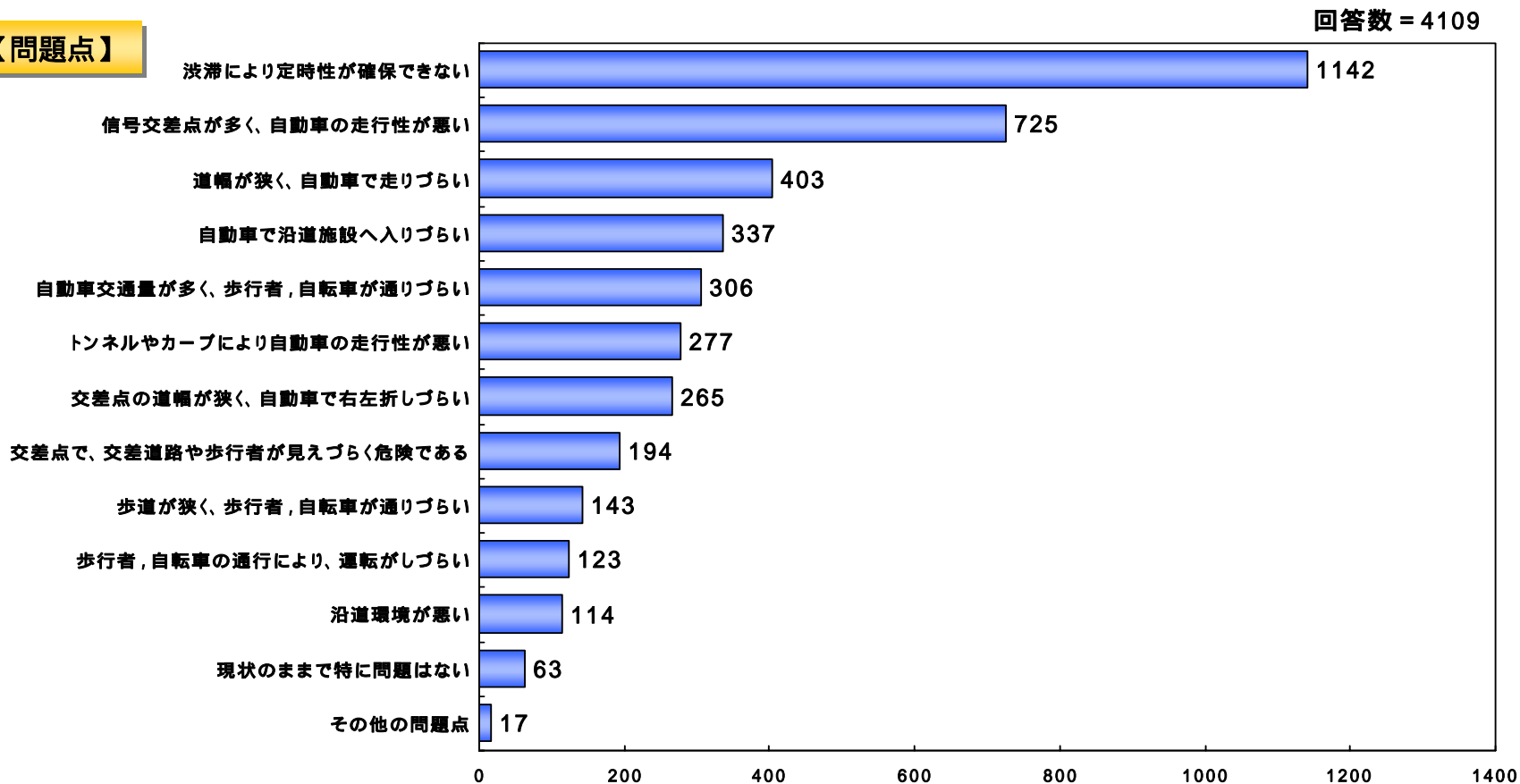
アンケート配布方法：新聞折り込み(国道185号沿線、広・仁方～安浦地区を対象)、ホームページ、呉市各支所に設置 など

有効回答数：1,691枚

Q. 検討区間に対して問題と感じていることは？（3つまで記入可）

「渋滞により定時性が確保出来ない」が最も多く、次いで「信号交差点が多く、自動車の走行性が悪い」「道幅が狭く、自動車で走りづらい」などの意見が多い。

【問題点】

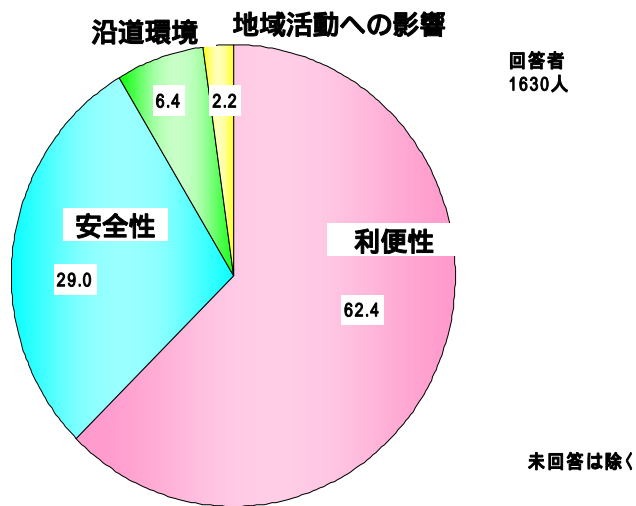


アンケートの実施結果

Q. 道路整備で最も重視すべき視点は？

本地区の道路整備を行う際の最も重視すべき視点の優先度は、利便性を1位にあげている方が62.4%と最も多く、次いで安全性、沿道環境、地域活動への影響の順となっている。

【道路整備上の重要視点 1位】



Q. バイパス案と現道拡幅案ではどちらが望ましい？ (各視点毎に確認)

全視点ともバイパス案が望ましいと回答している方が多く、概ね7～8割を占めている。
現道拡幅案は、地域活動への影響の面から望ましいと考える方が、4割弱となっている。

【バイパス案・現道拡幅案の比較】

